

言葉による見方・考え方を働かせる子どもを育てる国語科学習指導 ～言語活動の充実を図るメタ言語活動の位置づけを通して～

第六学年菊組 国語科学習指導案

指導者 安永 亮

単 元 具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう「私たちにできること」（光村図書）

指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、伝えたいことに合わせて文章構成や展開を工夫して意見文や推薦文を書きまとめることができるようになってきている。そこで、目的や意図に応じて展開の仕方を工夫することができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、事実と感想や意見を書き分けて、読み手に納得してもらうように自分の考えを伝える文章を書くことができるようにする。このことは、言葉で理解したり表現したりして、言葉の効果を実感し、工夫して表現していこうとする言葉による見方・考え方を働かせる子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第5学年「この本おすすめします」の学習において、段落の分け方や書き表し方を工夫して書くことができるようになってきている。本単元では、これらの上に立って論の展開や書き表し方を工夫して自分の考えをまとめることができるようにする。このことは、中学校第1学年で観点を立て、分かりやすく説明文を書く学習や調べたことをレポートにまとめていく学習へと発展していく。
- 本単元の指導に当たっては、自分たちの経験や現状、問題点から考えをつくり、読み手に納得してもらうための組み立て、書き表し方を工夫して提案する文章を書くことができるようにする。そのために、最上級生という立場と関係付けて「SDGs」を題材に、自分たちができることを考え、発信することを教材として設定する。特に本時指導に当たっては、まず、前時までの進捗状況と二つのサンプル文を基に、組み立て方の違いについて話し合い、本時学習のめあてをつかむことができるようにする。次に、展開段階では、既習を基に、組み立ての工夫について話し合っただけで簡単な文章にまとめ、グループごとに相互評価して自分たちの組み立てを見直すことができるようにする。最後に、終末段階では、学習を振り返り、次時の内容と学び方の見通しをもつことができるようにする。

目標

- 1 問題を提示したり原因を述べたりする段落の役割や、分かりやすく伝える情報と情報のつなげ方、文中の語句の係り方や語順、文と文の接続の関係や適切な接続語を捉えて、提案する文章に用いることができるようにする。
- 2 「よりよい学校生活」について自分の伝えたいことを明確にし、提案する文章の組み立て、文章量や言葉の選択、引用や図表を用いた書き表し方を工夫して提案する文章を書き、文章のよさを見付けることができるようにする。
- 3 学校生活をよりよくするために提案する文章を書くという目的をもち、内容や構成の検討、記述や推敲といった文章を書きまとめる過程に粘り強く取り組んだり、自分の提案する文章のよさを見付けたりする態度を育てる。

計画（10時間）

- 1 附小や自分たちの現状から課題をつかませ、提案する文章のテーマと見通しを立てさせる。————— 2
- 2 題材に基づいて自分の考えを文章で表現させ、提案する文章を完成させる。————— 7
(1) 根拠と理由づくりについて ----- ② (2) 組み立てについて ----- ②**本時(2/2)**
(3) 文献や図表の引用について----① (4) 推敲について -----① (5) 清書について ----- ①
- 3 完成した提案する文章を読み合わせ、感想や意見を交流させる。————— 1

- 主眼** 1 グループで考えた取組の提案が印象深く伝わるように、複数の取組は「累加」「並列」「対比」といった接続関係を工夫したり、一つの取組は譲歩構文を用いたりしながら文章を工夫して組み立てることができるようにする。
- 2 組み立てていく観点を明らかにするために、組み立てが異なる二つのサンプル文を比較し、よさや課題を整理したり、接続語でつないだりしながら、印象深く伝わる組み立てについて話し合うことができるようにする。

準備 学習者用端末、サンプル文

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援						
導入	<p>1 学習の進捗状況を振り返り、提案がより分かりやすく伝わる組み合わせにするという本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">【サンプル文 A】 取組を羅列した組み合わせ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">【サンプル文 B】 取組を対比させた組み合わせ</div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bの方が工夫していて、印象に残りやすいな。 ・ 本論の組み合わせを工夫することで、提案したいことを強調できて、より分かりやすい提案する文章になるな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p>グループで考えた取組の提案がより印象に残るように、文章の組み合わせを工夫しよう。</p> </div>	<p>○ 自分たちのグループの組み合わせを考えると、自分たちの本時学習のめあてをつかませるために、二つのサンプル文(取組の羅列、取組を対比)を比較できるように板書に提示し、学習者用端末で共有する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【サンプル文 A】</p> <p>① 節電するための取組として、こまめに電気を消すという呼びかけです。</p> <p>② また、電気を消す取組として、太陽光パネルを設置するために券や寄付金の呼びかけを行うことです。</p> <p>③ さらに、節電するための取組として、電力の使用量をグラフで提示するです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【サンプル文 B】</p> <p>① 節電するための取組として、こまめに電気を消すという呼びかけです。</p> <p>② また、節電するための取組として、電力の使用量をグラフで提示するです。</p> <p>③ 一方で、電気を消す取組として、太陽光パネルを設置するために券や寄付金の呼びかけを行うことです。</p> </div> </div>						
展開	<p>2 既習を基に、グループの友達と組み合わせについて話し合い、取組の提案を述べている本論の組み合わせを見直す。</p> <p>(1) 既習を基に、自分たちの提案する取組がより印象に残る組み合わせ方について話し合い、選択する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>複数の取組がある</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>単独の取組のみ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対比の形にするには、どのように並べるとよいか。 ・ すぐにできるものから順に並べる工夫もできそう。 ・ 取組の数を減らそう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの取組を印象に残すためには、できることだけでは強調されない。 ・ できること、できないこと、改善点を述べるとよいな。 </div> </div> <p>(2) グループで工夫した組み合わせを基に、文章にまとめ、他のグループと相互評価を行い、組み合わせを見直す。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">Aグループ (累加)</th> <th style="width: 33%;">Bグループ (対比)</th> <th style="width: 33%;">Cグループ (譲歩構文)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すぐにできるものと時間がかかるけれど大切な取組が印象に残って欲しい。</td> <td>取組にはそれぞれよさと課題があるけれど、使い分けるとよいことを伝えたい。</td> <td>取組のよさ、課題、そして改善点を述べることで、一つの取組を印象に残したい。</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本時の文章</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">相互評価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">前時の文章</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前の文章よりどの取組を伝えたいのか印象に残るようになった。 ・ 対比を使って書いているので、取組の違いが分かりやすい。 ・ 譲歩構文を使っているので、一つもよさが印象に残るな。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組が一つの場合だけでなく、譲歩構文を使うと、今書いている文章より印象に残る工夫になりそう。 ・ ○○のような取組を入れると、対比の構造になるよ。 ・ ○○を減らすと…が伝わる。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>見いだした観点を基に、自分たちの組み合わせを見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に考えた工夫はそのまま、一つを譲歩構文にしよう。 ・ 並列と対比を上手く組み合わせながら、取組を組み合わせよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>既習を基に、複数の取組は並列や対比といった並び方を、一つの取組は、よさ、課題、改善点の順序で説明することで、取組を印象付ける組み合わせにすることができた。</p> </div>	Aグループ (累加)	Bグループ (対比)	Cグループ (譲歩構文)	すぐにできるものと時間がかかるけれど大切な取組が印象に残って欲しい。	取組にはそれぞれよさと課題があるけれど、使い分けるとよいことを伝えたい。	取組のよさ、課題、そして改善点を述べることで、一つの取組を印象に残したい。	<p>○ 自分たちの取組の提案の組み合わせを工夫させるために、既習の説明的な文章の構成や情報の取り扱いについての内容を基にしたサンプル文(よい・不十分)のスタディ・ログを共有する。</p> <p>○ それぞれのグループの伝えたい印象を把握させた上で、相互評価ができるように、工夫した意図について学習者用端末を用いて共有する。</p> <p>○ 相互評価を基に自分たちの文章のよさや改善点に気付かせるために、「取組が印象に残ったか」「伝えたいことが初めから終わりまでつながっているか」「改善する案」の三つの観点を提示する。</p> <p>○ 文章のつながりを確かめながら見直しをさせるために、「それぞれの取組や文章の間には、どのような接続語が入りますか。」と発問する。</p> <p>○ 本時学習の振り返らせるために、「テーマとのつながり」「見直したり新たに獲得したりした言葉」の観点を提示する。</p>
Aグループ (累加)	Bグループ (対比)	Cグループ (譲歩構文)						
すぐにできるものと時間がかかるけれど大切な取組が印象に残って欲しい。	取組にはそれぞれよさと課題があるけれど、使い分けるとよいことを伝えたい。	取組のよさ、課題、そして改善点を述べることで、一つの取組を印象に残したい。						
終末	<p>3 自分たちの提案する文章が印象に残るように、組み合わせの工夫を考えた本時学習を振り返り、次時学習の見直しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【メタ言語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマとのつながり ・ 見直したり、新しく獲得したりした言葉 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマとのつながりを考えると、合わない取組があったので削除した。 ・ 接続語を用いて並べ変えることで、本当につながるかを考えることができた。 </div> </div>							

本単元の構成

配時	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援														
45	<p>1 資源や環境に関わる学校の課題や既習の「書くこと」について話し合い、自分たちの提案する学習のめあてと見通しをもつ。</p> <p>○ 附小の現状や既習の内容から学習課題をつくる。</p> <table border="1" data-bbox="226 412 1016 510"> <tr> <td data-bbox="226 412 496 510">【昨年度の附小の電気代】 7月 467000円 (40200kwh) 9月 750000円 (34000kwh)</td> <td data-bbox="496 412 766 510">【既習の内容】 4年生の国語「意見文を書こう」 4年生の社会「ごみ」「水」等</td> <td data-bbox="766 412 1016 510">【身近なニュース】 令和5年5月 G7サミット 日本の広島で開催</td> </tr> </table> <p>使用量は減っているのに、金額が高い。今後、資源を使いたい時に使えなくて困る。</p> <p>これまで、「SDGs」に関連するエネルギーのことについて学習してきたことがあるな。</p> <p>各国のリーダーが世界の課題などについて意見交換をしていたな。</p> <p>取組を広げるために、提案していかないといけない。他の附小とサミットをすると面白そうだ。国語の学習で提案する文章を書いたことはない。どのようなことに気を付けるのかな。</p> <p>SDGsを意識しながら自分たちの生活をよりよくする取組を提案する文章を書き、附小サミットを開いて提案しよう。</p>	【昨年度の附小の電気代】 7月 467000円 (40200kwh) 9月 750000円 (34000kwh)	【既習の内容】 4年生の国語「意見文を書こう」 4年生の社会「ごみ」「水」等	【身近なニュース】 令和5年5月 G7サミット 日本の広島で開催	<p>○ 「SDGs」についての視点から学習課題を見いださせるために、附小の電気料金と使用料の関係を表した資料と、資源や環境に関するスタディ・ログを順に提示する。</p> <p>【目的意識】自分たちにできることを提案して生活をよりよくする。 【相手意識】長崎大学教育学部附属小学校6年生。 【課題意識】現在社会の中でSDGsに関する内容が多く取り上げられており、私たちの生活にも直結する内容が多くある。 【状況意識】6年生として、学校で中心となって広めることができる。</p>											
【昨年度の附小の電気代】 7月 467000円 (40200kwh) 9月 750000円 (34000kwh)	【既習の内容】 4年生の国語「意見文を書こう」 4年生の社会「ごみ」「水」等	【身近なニュース】 令和5年5月 G7サミット 日本の広島で開催														
45	<p>○ 提案するテーマを決めて、学習計画と評価規準を立てる。</p> <table border="1" data-bbox="226 824 1016 900"> <tr> <td data-bbox="226 824 619 900">【「SDGs」について】</td> <td data-bbox="619 824 1016 900">【第5学年単元】 提案しよう、言葉とわたしたち</td> </tr> </table> <p>・エネルギー問題について考えたい。 ・ごみ問題が大切そうだ。 ・自分たちの健康につなげていきたい。</p> <p>・提案するときには、客観的なデータや引用などがあるとよかったな。 ・構成によって伝わり方が違うな。</p> <table border="1" data-bbox="226 1008 1016 1146"> <tr> <td data-bbox="226 1008 336 1039">第2時</td> <td data-bbox="336 1008 555 1039">テーマ決め</td> <td data-bbox="555 1008 1016 1039">評価【新規性、継続性、即時性、汎用性、実現性】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1039 336 1070">第3・4時</td> <td data-bbox="336 1039 555 1070">根拠・理由づくり</td> <td data-bbox="555 1039 1016 1070">評価【テーマとつながるか：具体的な数値、効果】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1070 336 1102">第5・6時</td> <td data-bbox="336 1070 555 1102">組み立て</td> <td data-bbox="555 1070 1016 1102">評価【テーマとつながるか：印象深く、心に残る】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1102 336 1146">第7時</td> <td data-bbox="336 1102 555 1146">文献や図表の引用</td> <td data-bbox="555 1102 1016 1146">評価【テーマとつながるか：言葉遣い、文末表現】</td> </tr> </table> <p>・メディアとの付き合い方を考えながら、正しく言葉を使えるために【新規性】 ・交通ルールやマナーを守りながら、自分たちが安全に暮らすために【継続性】 ・電気の使用量を減らしながら、自分たちが快適に過ごすために【即時性】 ・ごみの量を減らしながら、自分たちの健康を守るができるために【即時性】</p>	【「SDGs」について】	【第5学年単元】 提案しよう、言葉とわたしたち	第2時	テーマ決め	評価【新規性、継続性、即時性、汎用性、実現性】	第3・4時	根拠・理由づくり	評価【テーマとつながるか：具体的な数値、効果】	第5・6時	組み立て	評価【テーマとつながるか：印象深く、心に残る】	第7時	文献や図表の引用	評価【テーマとつながるか：言葉遣い、文末表現】	<p>○ 評価規準を立てさせるために、モデル文を提示して、提案する文章に必要な「テーマとのつながり」「根拠や理由」「組み立て」「表現の工夫」の四観点について話し合う場を設定する。</p> <p>○ 「SDGs」を基に、テーマを具体化させるために、「自分たちの生活にどのように関係しているのか」「問題点は何か」「原因はどのようなことなのか」という観点を提示する。</p>
【「SDGs」について】	【第5学年単元】 提案しよう、言葉とわたしたち															
第2時	テーマ決め	評価【新規性、継続性、即時性、汎用性、実現性】														
第3・4時	根拠・理由づくり	評価【テーマとつながるか：具体的な数値、効果】														
第5・6時	組み立て	評価【テーマとつながるか：印象深く、心に残る】														
第7時	文献や図表の引用	評価【テーマとつながるか：言葉遣い、文末表現】														
90	<p>2 題材に基づいて、自分たちの考えを文章で書き表し、長崎大学教育学部附属小学校の6年生に対して提案する文章をつくりあげる。</p> <p>○ テーマに基づいて、提案する文章をつくるために必要な材料を集めたり、分類、整理したりして、グループで共有する。</p> <table border="1" data-bbox="226 1464 1016 1644"> <tr> <td data-bbox="226 1464 488 1644">Aグループ 【メディアとの付き合い方】</td> <td data-bbox="488 1464 748 1644">Bグループ 【電力の使用量】</td> <td data-bbox="748 1464 1016 1644">Cグループ 【ごみの削減】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1541 488 1644">・情報過多の悪影響（事実や原因） ・適切なICT使用の啓発本（取組） ・学校のICTのきまりの見直し（取組）</td> <td data-bbox="488 1541 748 1644">・電気代高騰の背景（事実や原因） ・節電推進のポスター（取組） ・電気を余分に使う機器の紹介（取組）</td> <td data-bbox="748 1541 1016 1644">・ごみの分別の課題（事実や原因） ・分別BOXの作成（取組） ・3Rの紹介動画の作成（取組）</td> </tr> </table> <p>・掲示する内容は、環境省のホームページから情報を収集するとよさそうだ。 ・テーマを決めると具体的な取組について他校の取組を参考に調べることができる。</p>	Aグループ 【メディアとの付き合い方】	Bグループ 【電力の使用量】	Cグループ 【ごみの削減】	・情報過多の悪影響（事実や原因） ・適切なICT使用の啓発本（取組） ・学校のICTのきまりの見直し（取組）	・電気代高騰の背景（事実や原因） ・節電推進のポスター（取組） ・電気を余分に使う機器の紹介（取組）	・ごみの分別の課題（事実や原因） ・分別BOXの作成（取組） ・3Rの紹介動画の作成（取組）	<p>○ テーマに合った内容を焦点化して情報収集させるために、環境省や文部科学省などが提示している文書や実際に行われている取組についてのサイトを提示する。</p> <p>○ 言語活動を意識させるために、「具体的な数値」「具体的な知見」の二観点を提示する。</p>								
Aグループ 【メディアとの付き合い方】	Bグループ 【電力の使用量】	Cグループ 【ごみの削減】														
・情報過多の悪影響（事実や原因） ・適切なICT使用の啓発本（取組） ・学校のICTのきまりの見直し（取組）	・電気代高騰の背景（事実や原因） ・節電推進のポスター（取組） ・電気を余分に使う機器の紹介（取組）	・ごみの分別の課題（事実や原因） ・分別BOXの作成（取組） ・3Rの紹介動画の作成（取組）														
45	<p>○ 既習の説明文や「書くこと」「話すこと・聞くこと」の学習から提案する文章の構成について話し合い、構成メモを書く。</p> <table border="1" data-bbox="226 1823 673 2047"> <tr> <td colspan="3" data-bbox="226 1823 673 1854">文章構成</td> </tr> <tr> <td data-bbox="226 1854 336 2047">結論 【まとめ】 の対する思いや考えを提案する自分たち</td> <td data-bbox="336 1854 673 2047">本論 【提案】 ・ 提案理由① ・ 提案理由② ・ 提案理由③ ・ 提案理由④ ・ 提案理由⑤ ・ 提案理由⑥ ・ 提案理由⑦ ・ 提案理由⑧ ・ 提案理由⑨ ・ 提案理由⑩ ・ 提案理由⑪ ・ 提案理由⑫ ・ 提案理由⑬ ・ 提案理由⑭ ・ 提案理由⑮ ・ 提案理由⑯ ・ 提案理由⑰ ・ 提案理由⑱ ・ 提案理由⑲ ・ 提案理由⑳ ・ 提案理由㉑ ・ 提案理由㉒ ・ 提案理由㉓ ・ 提案理由㉔ ・ 提案理由㉕ ・ 提案理由㉖ ・ 提案理由㉗ ・ 提案理由㉘ ・ 提案理由㉙ ・ 提案理由㉚ ・ 提案理由㉛ ・ 提案理由㉜ ・ 提案理由㉝ ・ 提案理由㉞ ・ 提案理由㉟ ・ 提案理由㊱ ・ 提案理由㊲ ・ 提案理由㊳ ・ 提案理由㊴ ・ 提案理由㊵ ・ 提案理由㊶ ・ 提案理由㊷ ・ 提案理由㊸ ・ 提案理由㊹ ・ 提案理由㊺ ・ 提案理由㊻ ・ 提案理由㊼ ・ 提案理由㊽ ・ 提案理由㊾ ・ 提案理由㊿ ・ 提案理由① ・ 提案理由② ・ 提案理由③ ・ 提案理由④ ・ 提案理由⑤ ・ 提案理由⑥ ・ 提案理由⑦ ・ 提案理由⑧ ・ 提案理由⑨ ・ 提案理由⑩ ・ 提案理由⑪ ・ 提案理由⑫ ・ 提案理由⑬ ・ 提案理由⑭ ・ 提案理由⑮ ・ 提案理由⑯ ・ 提案理由⑰ ・ 提案理由⑱ ・ 提案理由⑲ ・ 提案理由⑳ ・ 提案理由㉑ ・ 提案理由㉒ ・ 提案理由㉓ ・ 提案理由㉔ ・ 提案理由㉕ ・ 提案理由㉖ ・ 提案理由㉗ ・ 提案理由㉘ ・ 提案理由㉙ ・ 提案理由㉚ ・ 提案理由㉛ ・ 提案理由㉜ ・ 提案理由㉝ ・ 提案理由㉞ ・ 提案理由㉟ ・ 提案理由㊱ ・ 提案理由㊲ ・ 提案理由㊳ ・ 提案理由㊴ ・ 提案理由㊵ ・ 提案理由㊶ ・ 提案理由㊷ ・ 提案理由㊸ ・ 提案理由㊹ ・ 提案理由㊺ ・ 提案理由㊻ ・ 提案理由㊼ ・ 提案理由㊽ ・ 提案理由㊾ ・ 提案理由㊿</td> <td data-bbox="673 1854 783 2047">序論 【提案のきっかけ】 現状や問題点 経験</td> </tr> </table> <p>・提案する文章の基本の形は、きっかけ、現状、原因、具体的な提案、まとめだったな。 ・自分たちが調べた情報をこの構成に沿って組み立てていくとどうなるのかな。</p>	文章構成			結論 【まとめ】 の対する思いや考えを提案する自分たち	本論 【提案】 ・ 提案理由① ・ 提案理由② ・ 提案理由③ ・ 提案理由④ ・ 提案理由⑤ ・ 提案理由⑥ ・ 提案理由⑦ ・ 提案理由⑧ ・ 提案理由⑨ ・ 提案理由⑩ ・ 提案理由⑪ ・ 提案理由⑫ ・ 提案理由⑬ ・ 提案理由⑭ ・ 提案理由⑮ ・ 提案理由⑯ ・ 提案理由⑰ ・ 提案理由⑱ ・ 提案理由⑲ ・ 提案理由⑳ ・ 提案理由㉑ ・ 提案理由㉒ ・ 提案理由㉓ ・ 提案理由㉔ ・ 提案理由㉕ ・ 提案理由㉖ ・ 提案理由㉗ ・ 提案理由㉘ ・ 提案理由㉙ ・ 提案理由㉚ ・ 提案理由㉛ ・ 提案理由㉜ ・ 提案理由㉝ ・ 提案理由㉞ ・ 提案理由㉟ ・ 提案理由㊱ ・ 提案理由㊲ ・ 提案理由㊳ ・ 提案理由㊴ ・ 提案理由㊵ ・ 提案理由㊶ ・ 提案理由㊷ ・ 提案理由㊸ ・ 提案理由㊹ ・ 提案理由㊺ ・ 提案理由㊻ ・ 提案理由㊼ ・ 提案理由㊽ ・ 提案理由㊾ ・ 提案理由㊿ ・ 提案理由① ・ 提案理由② ・ 提案理由③ ・ 提案理由④ ・ 提案理由⑤ ・ 提案理由⑥ ・ 提案理由⑦ ・ 提案理由⑧ ・ 提案理由⑨ ・ 提案理由⑩ ・ 提案理由⑪ ・ 提案理由⑫ ・ 提案理由⑬ ・ 提案理由⑭ ・ 提案理由⑮ ・ 提案理由⑯ ・ 提案理由⑰ ・ 提案理由⑱ ・ 提案理由⑲ ・ 提案理由⑳ ・ 提案理由㉑ ・ 提案理由㉒ ・ 提案理由㉓ ・ 提案理由㉔ ・ 提案理由㉕ ・ 提案理由㉖ ・ 提案理由㉗ ・ 提案理由㉘ ・ 提案理由㉙ ・ 提案理由㉚ ・ 提案理由㉛ ・ 提案理由㉜ ・ 提案理由㉝ ・ 提案理由㉞ ・ 提案理由㉟ ・ 提案理由㊱ ・ 提案理由㊲ ・ 提案理由㊳ ・ 提案理由㊴ ・ 提案理由㊵ ・ 提案理由㊶ ・ 提案理由㊷ ・ 提案理由㊸ ・ 提案理由㊹ ・ 提案理由㊺ ・ 提案理由㊻ ・ 提案理由㊼ ・ 提案理由㊽ ・ 提案理由㊾ ・ 提案理由㊿	序論 【提案のきっかけ】 現状や問題点 経験	<p>○ 提案する文章の構成の観点を見いださせるために、モデル文と対照になる不十分なモデル文を提示して、よさや不十分さについて話し合う場を設定する。</p>								
文章構成																
結論 【まとめ】 の対する思いや考えを提案する自分たち	本論 【提案】 ・ 提案理由① ・ 提案理由② ・ 提案理由③ ・ 提案理由④ ・ 提案理由⑤ ・ 提案理由⑥ ・ 提案理由⑦ ・ 提案理由⑧ ・ 提案理由⑨ ・ 提案理由⑩ ・ 提案理由⑪ ・ 提案理由⑫ ・ 提案理由⑬ ・ 提案理由⑭ ・ 提案理由⑮ ・ 提案理由⑯ ・ 提案理由⑰ ・ 提案理由⑱ ・ 提案理由⑲ ・ 提案理由⑳ ・ 提案理由㉑ ・ 提案理由㉒ ・ 提案理由㉓ ・ 提案理由㉔ ・ 提案理由㉕ ・ 提案理由㉖ ・ 提案理由㉗ ・ 提案理由㉘ ・ 提案理由㉙ ・ 提案理由㉚ ・ 提案理由㉛ ・ 提案理由㉜ ・ 提案理由㉝ ・ 提案理由㉞ ・ 提案理由㉟ ・ 提案理由㊱ ・ 提案理由㊲ ・ 提案理由㊳ ・ 提案理由㊴ ・ 提案理由㊵ ・ 提案理由㊶ ・ 提案理由㊷ ・ 提案理由㊸ ・ 提案理由㊹ ・ 提案理由㊺ ・ 提案理由㊻ ・ 提案理由㊼ ・ 提案理由㊽ ・ 提案理由㊾ ・ 提案理由㊿ ・ 提案理由① ・ 提案理由② ・ 提案理由③ ・ 提案理由④ ・ 提案理由⑤ ・ 提案理由⑥ ・ 提案理由⑦ ・ 提案理由⑧ ・ 提案理由⑨ ・ 提案理由⑩ ・ 提案理由⑪ ・ 提案理由⑫ ・ 提案理由⑬ ・ 提案理由⑭ ・ 提案理由⑮ ・ 提案理由⑯ ・ 提案理由⑰ ・ 提案理由⑱ ・ 提案理由⑲ ・ 提案理由⑳ ・ 提案理由㉑ ・ 提案理由㉒ ・ 提案理由㉓ ・ 提案理由㉔ ・ 提案理由㉕ ・ 提案理由㉖ ・ 提案理由㉗ ・ 提案理由㉘ ・ 提案理由㉙ ・ 提案理由㉚ ・ 提案理由㉛ ・ 提案理由㉜ ・ 提案理由㉝ ・ 提案理由㉞ ・ 提案理由㉟ ・ 提案理由㊱ ・ 提案理由㊲ ・ 提案理由㊳ ・ 提案理由㊴ ・ 提案理由㊵ ・ 提案理由㊶ ・ 提案理由㊷ ・ 提案理由㊸ ・ 提案理由㊹ ・ 提案理由㊺ ・ 提案理由㊻ ・ 提案理由㊼ ・ 提案理由㊽ ・ 提案理由㊾ ・ 提案理由㊿	序論 【提案のきっかけ】 現状や問題点 経験														

45 本時 ○ 本論の組み立ての工夫について話し合い、組み立てを見直す。

複数の取組の接続関係について	一つの取組の述べ方について
----------------	---------------

対比や並列、累加の関係を使ってみよう。 5年生で学習した譲歩構文を使おう。

- ・本論の取組の順序を工夫すると伝えたい提案が読み手に印象深く伝わるな。
- ・一つの取組でも、譲歩構文を使って述べることで伝えたいことが強調できるな。

45 ○ 既習の説明文や「書くこと」「話すこと・聞くこと」の学習から提案する文章の記述について話し合い、下書きを書く。

文章構成		
結論 ・まとめの「ことば」 ・つまり… ・以上のことから… ・これらから…	本論 ・「考え」 ・どう考える。 ・「は」はどうだろうか。 ・「引用」 ・「〜」と言われている。 ・「図表と文章の関連」 ・図1は… ・表1は… ・「反対の立場の考え」 ・「〜という考えもあるか」 ・「事例」 ・「〜というのは…」 ・「実際には…」	序論 ・「きっかけの説明」 ・きっかけは… ・以上のことから… ・「事実」 ・「〜である。〜だ。」

- ・客観的な事実と自分たちの考えを区別する文末表現に注意しよう。
- ・説得力を高めるために、引用した文章や図表の出典を明記しよう。

45 ○ 提案する文章を前時までに評価してきた観点で推敲して、自分たちの提案する文章を整える。

【組み立て】	【文章量や言葉の選択】	【引用や図表の使い方】
<ul style="list-style-type: none"> ・内容のまとまりごとに段落が分けられているか。 ・本論の組み立ての工夫につながりがあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的な事実と自分たちの考えが区別される文末表現になっているか。 ・適切な文章量か。 ・誤字脱字はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引用する内容には、かぎ(「」)と出典が示されているか。 ・図表と本文が関連付いて表記されているか。

接続語を基に、その効果を見直すと印象に残りやすくなるかな。	一文が長くなっていたので、事実是一个の文で区切るとよさそうだ。	図表で表すことと文章の言葉をつなげる表現が必要だな。
-------------------------------	---------------------------------	----------------------------

↓ ↓ ↓

グループごとに各自が担当した文章を推敲し、担当した文や文章を整える

45 ○ 推敲した内容を基に、学習の進め方を話し合い、清書をする。

【情報収集】	【推敲】	【清書する】
→内容の付加、修正、強化 →引用や図表の検討	→組み立ての検討 →言葉や引用等の検討	→考えの形成 →記述

45 3 それぞれが書きまとめた提案する文章を読んだ感想と意見を伝え合う交流会を開き、自分の提案する文章のよさを見付けて、本単元の学習をまとめる。

【共有する観点】 ○提案したいことと効果が明確に表現されているところ ○相手意識があるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メモや下書きと比較することで伝えたいことがはっきり分かるね。 ・事実と感想や意見が区別して分かりやすい。
---	--

「資源や環境問題」について調べたり考えたりして、自分の伝えたいことを読み手に納得してもらえるように提案する文章を書くことができた。
 これまでの文章と違って、読んだ相手が実際に取り組んでもらえるようにするためには、内容を具体的にするだけでなく、提案していく組み立てを工夫することが大切だということが分かった。提案する場面や次の学習でもこのことを生かしていきたいと思う。実際に、他の学校に提案をして考えを深めることができた。

○ 組み立ての工夫について検討させるために、既習の説明的な文章や情報の取り扱いに関する内容のスタディ・ログを提示する。

○ 言葉使いや、文献や図表の引用の仕方についての観点を見いださせるために、体裁が整った文章と不十分な文章を提示する。

○ 情報編集能力を育成させるために、グループでまとめた組み立てを基に、記述する内容を役割分担させる場を設定する。

○ 推敲する観点を見いださせるために、前時までに提示したモデル分やサンプル文を提示する。

○ グループ内で互いの文章を推敲できるように、一つの文章を二人以上が読むように推敲の流れを板書に提示する。

○ 推敲を基に、清書をさせるために、評価規準を再度グループで確認する場を設定する。

○ 学び方を再考できるように、友達の推敲後の自己評価をICTで共有する。

○ 自分の提案する文章をつくりあげた成果を見いださせるために、長崎大学教育学部附属小学校の6年生とオンライン通信をして、意見交換する場面を設定する。